

# 第1学年 英語科 学習の手引き

## 1 教科の目標

- |  |
|--|
| (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。 |
| (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 |
| (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。                      |

## 2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	①正しい文型や適切な語法を選択することができる。 ②場面や状況、発話者の意図に応じた音声の変化を理解し、また伝達することができる。 ③英語の質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 ④教科書などに出てくる英文の内容を正しく理解することができる。	定期考査 単元別テスト 小テスト リーディングテスト リスニング・ディクテーションテスト
II 思考・判断・表現	①言語活動において、学習した表現方法を活用し、相手に情報を伝えたり、やりとりしたりすることができる。 ②非言語な情報（ジェスチャーや表情）などを適切に活用しながら、スムーズなコミュニケーションを図ることができる。 ③英文を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意図を正しく理解することができる。 ④英語圏や非英語圏の異文化を理解し、他者へ働きかけようとすることができる。	スピーキングテスト スペリングコンテスト スピーチ・劇・英作文等表現活動
III 主体的に学習に取り組む態度	①言語活動に積極的に取り組むことができる。 ②技能習得のために課題・提出物の内容を修正しようとしている。 ③テキストや授業以外の分野の英語に興味を持ち、自発的な学習を行うことができる。	授業・課題への取り組み 宿題 提出物 (ノート・ワークブック)

## 3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4月	・小学校で学んできた英語を復習し、簡単な英語で好きな教科や食べ物、行ってみたい国などを聞いたり話したりできるようになる。 ・アルファベットに慣れ親しみ、簡単な英単語や英文を聞く、書く、話すことができるようになる。
	5月	・Lesson 1 About Me (be 動詞、一般動詞の現在形 (1, 2 人称) ・be 動詞と一般動詞の現在形 (1・2 人称) の特徴やきまりを理解し、それを含む文を用いて伝え、正確に書くことができるようになる。 ・What do you~/What(名詞)do you~?の意味や働きを理解し、質問したり答えたりできるようになる。 ・Words & Sounds 1 How many~?の表現を使い、数を質問したり、答えたりすることができるようになる。
	6月	・Lesson 2 My Hero (助動詞 can) 助動詞 can の特徴やきまりを理解し、それを含む文を用いて相手に伝えたり、質問したり正確に書くことができるようになる。 ・Words & Sounds 2 When is ...?の意味や働きを理解し、事実や自分の考えなどを伝え合うことができる。 ・Lesson3 My Treasure (be 動詞 (3 人称) be 動詞 3 人称の特徴やきまり、What is this? の意味や働きを理解し、相手に伝えたり、質問したり正確に書くことができるようになる。 ・Who is ~?の意味や働き、人称代名詞 (目的格) の特徴やきまりを理解し、それを含む文を用いて相手に伝えたり、質問したり正確に書くことができるようになる。 Take Action! Talk1 道案内 「道順をたずねる」「道順を説明する」表現を用いて伝えたり、相手の質問に答えたりすることができるようになる。
	7月	・Lesson 4 My Summer Plans 昨年の夏休みの思い出 I went to [ate / saw / enjoyed ~ing ] を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして内容を捉えることができ、正確に書くことができるようになる。 今年の夏休みの計画 Where do you want to go?/I want to~を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして内容を捉えることができ、正確に書くことができるようになる。 Take Action! Talk2 フードコートでの注文 「注文を受ける」「注文する」表現を用いて伝えたり、相手の質問に答えたりすることができるようになる。
	9月	Lesson5 Ms. Brown's Family (3 人称単数現在形) ・3 人称単数現在形の特徴やきまりを理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えるこ

	とができ、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 Whose...?の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。	
10月	・Lesson 6 School Life in the USA 〈現在進行形〉 ・現在進行形の文の特徴やきまりを理解し、それを含む文を用いて相手に伝えたり、質問したり正確に書くことができるようになる。 ・Which~?の表現を使い、2つからどちらにするかを質問したり選んだりできるようになる。	
11月	Small Talk Plus “What do you like about your school life?” 話し相手とより良い関係を築くために、相手が話した内容について感想を伝えながら、テーマについて即興で伝え合ったり、質ものに応答したりすることができるようになる。 Goal Activity 日本の学校ってどんな感じ？ 日本の学校生活や行事について、写真を描写し、詳しい説明を加えて英語で文章を書くことができるようになる。 Take Action! Talk3 体調不良 「症状をたずねる」「提案する」「症状を説明する」「礼を言う」表現の意味や働きを	
12月	・Lesson 7 Athletes with Spirit 〈一般動詞過去形〉 ・一般動詞過去形を使って、過去のことについて質問したり説明したりできるようになる。 ・Get Plus 5 You look~の表現を使い、相手の様子について主観的に話せるようになる。	
二 学 期	1月	・Lesson 8 Discover Japan 〈be動詞の過去形、過去進行形〉 ・be動詞の過去形、過去進行形を使って、過去の状況について質問したり説明したりできるようになる。
	2月	・Lesson 9 Emergency Food 〈未来を表す表現〉 ・助動詞 will、be going to を使って未来のことについて質問したり伝えたりすることができるようになる。 ・Get Plus 6 Can you~?の表現を使って相手に許可を求めたり答えたりすることができるようになる。
	3月	・Project3 日本の「昔話」の紙芝居 ・Reading For Fun 物語文を楽しみながら読むことができる。

#### 4 学習のポイント

<p>1. A. B. C の基準</p> <p>I 知識・技能</p> <p>A 各種テスト（単元・定期考査・Speaking・Writing など）において、8割以上理解できている。 B 各種テスト（単元・定期考査・Speaking・Writing など）において、5割以上理解できている。 C 各種テスト（単元・定期考査・Speaking・Writing など）において、5割以上理解できておらず、努力が必要である。</p> <p>II 思考・判断・表現</p> <p>*話す</p> <p>A コミュニカティブな活動、また発表活動などにおいて、スムーズに発表できているだけでなく、表現が豊かで、みんなの見本となった。 B 間が生まれてしまったり、やりとりが多少かみ合わなかったりするが、コミュニケーションをとることができている。 C コミュニケーションや発表をすることができていない、または必要以上に時間がかかっているため、もっと表現を覚える努力が必要である。</p> <p>*書く</p> <p>A 各種テスト（単元・定期考査・Speaking・Writing など）において、8割以上理解できている。 B 各種テスト（単元・定期考査・Speaking・Writing など）において、5割以上理解できている。 C 各種テスト（単元・定期考査・Speaking・Writing など）において、5割以上理解できていない。</p> <p>III 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>*積極的に取り組む</p> <p>A ・授業中の言語活動が目立って活発である。 ・課題などに対して、際立った努力が見られる。 ・グループ、ペアワーク等の活動において積極的に協力し活動している。 ・自ら表現したいことを積極的に提示し、コミュニケーションをリードしている。 B ・授業に対してまじめに取り組んでいる。 ・課題などに対して、指示されたことが不足なくできる。 ・グループ活動、ペアワークで活動している。 C ・授業に対して落ち着きがなく、前向きな取り組みが見られない。 ・課題などに対して、指示されたことができない。</p>
--

・グループ活動、ペアワークへの参加が消極的である。

**\*提出物**

- A 答え合わせをして、指示されたやり方でやっている。かつ、学習方法に工夫を凝らし、わかりやすく内容をまとめ、間違えた問題に対してしっかりと見直しを行っている。
- B 指定されたページまで、指示されたやり方で、すべてやってある。  
期日までに提出する。
- C 取り組みが不十分である。一部の部分または一部のページしか書いていない。  
または期日までに提出していない。

2. 学習を進めていく上でのポイント

**\*授業に前向きに参加する**…積極的に声を出し、意欲的に授業に取り組む。

(恥ずかしがらない、失敗を恐れない)

コミュニケーションの中でトライして「伝えたいことが通じた」という成功体験と、間違えたことを訂正する中で正しい表現を身に付けようとする態度を身に付ける。

**\*ノートにまとめる力をつける**…家庭で復習するために用いる。複写から始め、文字に慣れる。

**\*ワーク**…指示された期日に提出すること。間違えたところは訂正すること。

**\*テスト**…事前に勉強し、答案が返却された後も見直し学習を行うことが重要。

できなかった問題は必ずやり直し、「次は間違えないようにする」ことが確かな学力につながる。

**\*提出物**…ノート・ワーク・プリントなどで、学習状況をチェックする。指示された期日に提出すること。